

海洋生物シンポジウム2025

主催：日本海洋学会海洋生物学研究会 共催：日本プランクトン学会・日本水産海洋学会

日時 | 2025年 3月 17日 (木) 9時～

場所 | 東京海洋大学白鷹館 1階講義室 / オンライン開催 (Zoom使用)

プログラム

■ 海洋生物学研究会会長挨拶 高木 悠花

■ 日本海洋学会会長挨拶 江淵 直人

■ 基調講演

時間	発表者	演題
9:10-9:40	Nishihara, Gregory N.	藻場における海洋ごみの脅威
9:40-10:10	長谷川 万純	ロドプシンから探るシアノバクテリアの多彩な光利用戦略

■ 一般講演

座長	時間	発表者	学生	演題
座 長 1	10:25	岡本 諭賢	✓	海洋微生物のエアロゾル移行に着目した大気海洋境界の菌叢解析
	10:40	脇 敬太郎	✓	西部北太平洋における窒素固定を駆動する微生物群集動態
	10:55	高柳 茜	✓	グライコミクスを用いた海水中の糖鎖解析
	11:10	宮園 健太郎	✓	日本近海表層のプラスチックごみ付着生物相の解明
座 長 2	11:25	森本 冬海	✓	魚類のDHA蓄積へのラビリントウ類の影響
	11:40	丸田 智毅	✓	共生藻に着眼した浮遊性有孔虫 <i>Globigerinella siphonifera</i> の分子系統解析
	11:55	宮本 祐成	✓	浮遊性有孔虫群集を制御する環境要因及びタンパク質バイオマスとしての存在量評価

12:10～13:30 昼休憩

座長	時間	発表者	学生	演題
座長 3	13:30	船木 千帆	✓	西部北太平洋における混合栄養性無殻繊毛虫の分布生態
	13:45	嶋田 蓮	✓	混合栄養性ハプト藻 <i>Phaeocystis antarctica</i> とクリプト藻 <i>Geminigera cryophila</i> の温度による増殖速度と光合成特性の変化
	14:00	樋下 未感	✓	海洋植物プランクトンの暗所における栄養塩消費と生存戦略
	14:15	住吉 大	✓	秋季太平洋側北極海における植物プランクトン群集：海氷融 解遅延の影響
座長 4	14:30	平川 皓稀	✓	安定同位体比分析から示唆されたハマトビウオの別回遊群の 存在
	14:45	堀口 祐輔	✓	AI位置座標解析とバイオセンサを用いた魚類のストレス応答 解析
	15:00	伊藤 進一		中規模渦と全球規模の漁場形成
	15:15	土井威志		サンゴの大規模白化指標(Degree Heating Week)の季節予測
15:30~15:45 休憩				
座長 5	15:45	堤 英輔		2024年夏季宇和島市下波湾沖における急潮の観測
	16:00	岡 英太郎		学術変革領域研究A「ハビタブル日本：島嶼国日本の生存基盤 をなす大気・海洋環境の持続可能性」
	16:15	山口 凌平		近年の黒潮続流の顕著な北偏と「ハビタブル日本」における 取り組み
座長 6	16:30	野坂 裕一		2023年春季親潮と親潮—黒潮混合域におけるゲル状粒子濃度
	16:45	有馬 大地		PlanktoScopeを用いたマイクロプランクトン群集構造解析： 特に宗谷暖流域の大型珪藻について
	17:00	菅井 洋太		黒潮亜熱帯域における原核生物・真核微生物の群集構造およ び分布パターン
	17:15	藤木 徹一		光に満ちた海洋表層でのUV防御戦略：共生生態の新たな視点
17:30~ 閉会式・学生優秀発表賞表彰				